



# KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

大学案内 2022

# 大学昇格 100 周年を迎えて

京都府立医科大学は、今年の秋に大正10年(1921年)の大学令発布による大学昇格から100周年を迎えます。大学令は、近代国家として高等教育(大学)の在り方を整理し、基準化を行ったいわば国家100年の計であり、同時に本学の骨格が定まった出来事です。

また、来年2022年は、明治5年(1872年)に本学の始まりである療病院が設立されて150年の節目に当たります。この歩みは、優れた近代医学を京都の地に打ち立てる、崇高な意思の下に、風雪に耐えた先人の努力があつてのことです。看護学科も前身を含めて130年の歴史を重ねています。本学の継続には、大学の努力に設置者である京都府の援助そして何よりも京都府民の信頼が実を結んだものであります。

従って、2021年から2022年にかけては本学の歴史と未来を語る時と考えています。大学に集う私たちは、改めて本学の未来をグランドビジョンとして世に問い101年目を150年に重ね合わせたいと考えています。

受験生の皆さん、京都府立医科大学の歴史と未来と一緒に歩みませんか？

京都府立医科大学は、このようなことを考えています。

- 「社会と時代の変化に対応できる医療人を育成します」  
100年前のスペイン風邪大流行、今は新型コロナウイルス感染症の襲来、今後のウイルス感染症に対して「考え、行動できる医療人」を育成します。



# CONTENTS

- 「心暖まる安全で安心な高度で先進的な医療を提供し続けます」  
CureとCareに担保された高度で先進的な医療に取り組みます。
- 「医学と医療の視点から継続して発展できる研究課題に取り組みます」  
医療の課題を基礎的な医学研究と社会実装の双方向から解決します。
- 「京都に求められている国際交流に真摯に取り組みます」  
世界トップレベルの医学、医療の構築と絶え間ない情報発信に努めます。
- 「地球環境やワークライフバランスを私達の課題として考えます」  
環境に優しい病院を目指し、多様な社会での医療を適切に提供します。

01 学長メッセージ

03 大学沿革

05 世界トップレベルの医療を地域へ

06 地域医療実習 —医学・看護学の共同実習—

## 医学部医学科

08 医学科の教育方針

09 カリキュラム概要

13 在学生の声

14 卒業生の声

## 医学部看護学科

16 看護学科の教育方針

17 カリキュラム概要

19 保健師・助産師コースの履修について

21 在学生の声

22 卒業生の声

## 大学院

23 大学院医学研究科

- 医科学専攻(修士課程)

- 統合医科学専攻(博士課程)

24 大学院保健看護学研究科

- 保健看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)

25 教育スタッフ

27 国際交流

28 研究活動

29 キャンパスライフ・クラブ活動

31 キャンパスマップ・交通アクセス

33 卒業後の進路、奨学金・減免制度等

34 入学試験情報

# 大学沿革

京都府立医科大学は1872年(明治5年)に設立されて以来149年の歴史を誇るわが国でも最も古い医科大学の一つです。

本学の設立に至る経緯は極めてユニークなものです。1868年(明治元年)から京都府を通じて西洋医学の教育病院を設立したいと願っていた京都市民は、自らの寄付によって、京都東山の青蓮院の境内に病院を建て、そこにドイツ人医師を講師に呼んできたのです。多くの医科大学・医学部では、まず大学などの教育施設ができ、その研修の場として附属病院が作られましたが、本学においては、府民の医療を第一とする病院がまず作られ、次にこの病院での医療・医学を担う人材を養成する場として大学が位置付けられました。

1872



療病院開業式次第

1872



粟田口青蓮院療病院

1873



療病院(青蓮院)の病室

1880



療病院・医学校卒業生  
【中列、左から4人目萩原校長、5人目ジョイベ】

1889



産婆教習所設置認可

明治5年11月  
粟田口青蓮院内に療病院を設け、患者の治療を行うかたわら医学生を教育した

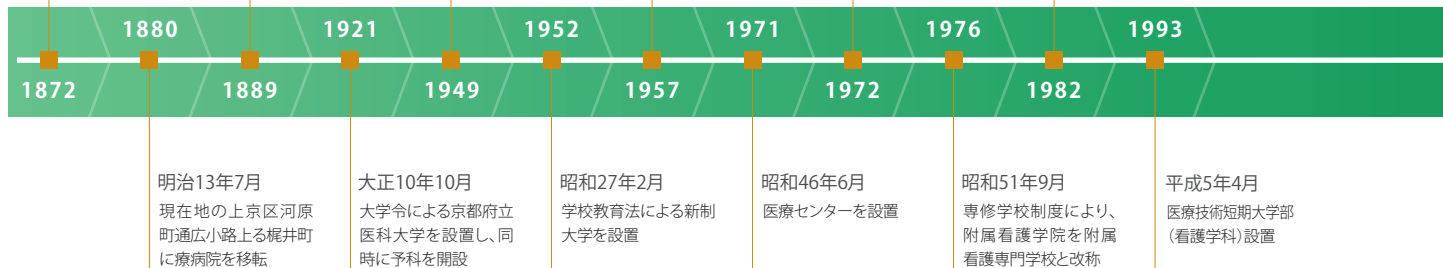
明治22年4月  
本校の附属として産婆教習所を設置

昭和24年4月  
附属甲種看護婦学院(後に看護学院と改称)を設置

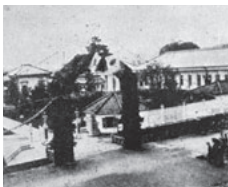
昭和32年3月  
本大学に大学院(医学研究科)を設置

昭和47年11月  
創立百周年

昭和57年11月  
附属小児疾患研究施設(京都府こども病院)設置



1889



医学校10周年

1911



看護婦講習生

1912



臨床講義

1914



医学専門学校本館

1914



レントゲン室

1920



附属療病院玄関

1921



西方から附属病院を望む

1927



医科大学正門

1927



京都府立医科大学学術研究会発会式

1932



医科大学門灯

また、看護学科は1889年(明治22年)に設置された附属産婆教習所に始まり、附属看護専門学校、医療技術短期大学部などの変遷を経て、2002年(平成14年)から医学部看護学科として設置されています。

設立以来、本学は地域社会の要請に応えることのできる優れた医療人、研究者を養成するという使命を担い、今日に至るまでこの設立方針が堅持され、府民から絶大な信頼が寄せられています。

1949



伏見分院正門 臨床実習を終えた附属女子専門部生徒

1950



医科大学西構  
【現文化芸術会館所在地】

1959



看護学科戴帽式

1967

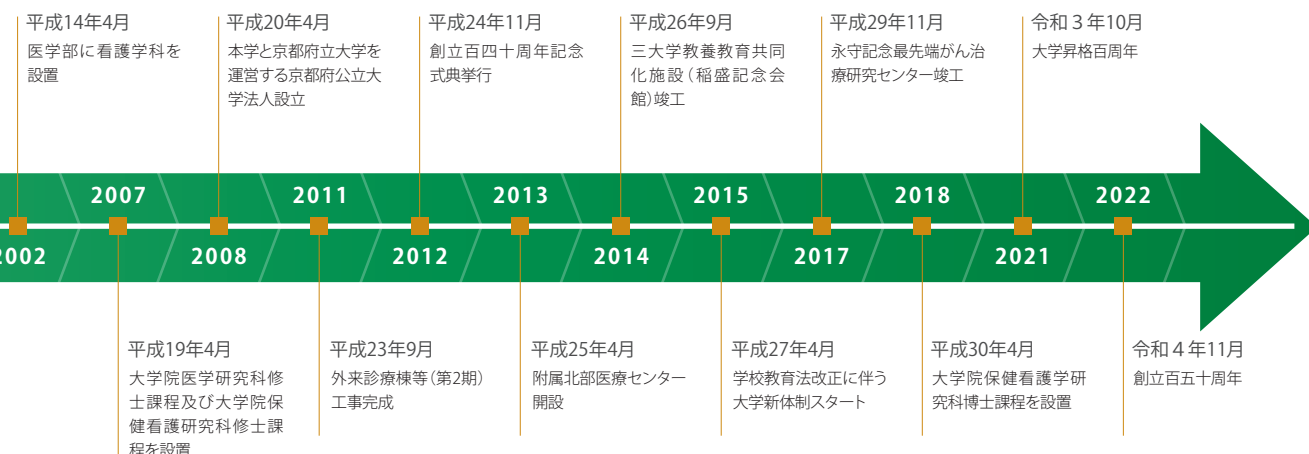


花園分院

1972



看護学科 演習



1972



創立100周年記念式正面



臨床研究棟

1987



大学全景

1992



附属図書館・合同講義棟

2022



創立150周年パナースタンド

2011



外来診療棟等

2012



新大学門

2014



三大学教養教育共同化施設

2017



永守記念最先端がん治療研究センター



## 「世界トップレベルの医療を地域へ」

### 最先端で高度な医療現場で医師・看護師の基本を学ぶ

京都府立医科大学附属病院は、東に鴨川や如意ヶ嶽(大文字山)を、西に京都御所を臨む緑豊かな環境のなかで、高度で専門的、かつ安全な医療を提供しています。毎日約2100人の外来患者さんが訪れ、最新の医療機器を備える病棟は病床数706床で運用しています。臓器別・疾病別のメディカルセンターを設置し、関連する診療科が連携した総合的な医療を提供しています。また、ゆったりとした待合スペースや個室化された診察室など、府民の総合的な健康管理の中核となる医療機関として、最適な医療サービスが提供できる環境を備えています。

本院は特定機能病院、病院機能評価認定(3rdG:Ver1.1)、都道府県がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、第一種感染症指定病院、災害拠点病院などの指定を受けており、各分野で専門性の高い診療を行っています。平成29年には「永守記念最先端がん治療研究センター」が完成し、平成31年4月からは陽子線治療を開始しました。

本院は、一般の患者さんを診療するとともに、医学部の教育の中で大切な臨床実習の場でもあります。医学科・看護学科の学生はここで実地臨床の基礎を学び、さらに最先端の医学・医療に接しながら、医師・看護師としての基本的な心構えと知識・技能を身につけます。



# 地域医療実習 — 医学・看護学の共同実習 —

多職種連携や地域医療の現場を学ぶ

地域を担う使命感を持った医療従事者を育成するために、医学科生と看護学科生の合同により、地域滞在型の医療実習を本学附属北部医療センター、京都府北中部の基幹病院及び当該保健、福祉施設等で実施しています。

臨床現場の空気を肌で感じながら、地域医療の仕組みや各地域の実情を知るとともに、医療チームの一員としての貴重な体験をします。活動の成果は実習後の成果報告会で発表し、活動に関する評価を行います。

## 地域医療実習実施病院

京都府立医科大学附属北部医療センター、京都中部総合医療センター、綾部市立病院、市立福知山市民病院、国立病院機構舞鶴医療センター、京丹後市立弥栄病院、京丹後市立久美浜病院

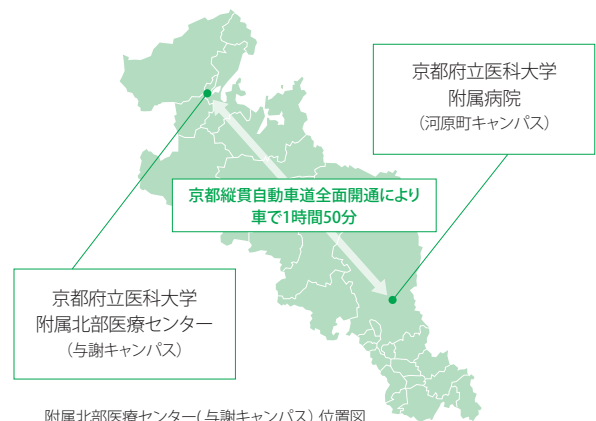


## 附属北部医療センター

「信頼される全人的医療」を理念に

京都府立医科大学附属北部医療センターは、与謝野町に位置する京都府北部の医療と医学教育の基幹施設です。「信頼される全人的医療」を理念とし、京都府北部の中核病院として地域医療に貢献しています。救急告示病院、地域災害医療センター、京都府周産期医療2次病院など多くの病院機能を有しています。救急隊が常駐する救急ワークステーションの運用をはじめ、丹後医療圏の救急の拠点としてドクターヘリも含めて要請があれば全ての救急患者を受け入れています。

京都府立医科大学の附属病院として、診療・教育・研究の体制を充実させています。総合医療、高度医療の充実を進め、同時に地域医療連携においても地域の中心的役割を果たしています。令和2年度には、がん診断から治療までを一体的に実施する「がん診療棟」が整備されました。また、令和3年4月からは新たに歯科口腔外科の診療を開始いたしました。



# 医学部



School of Medicine



# 医学科の教育方針

京都府立医科大学は、1872年(明治5年)に設立された「療病院」を起源とする日本最古の医科大学の一つであり、開学から現在までの149年間に1万1千人を超える医師・医学研究者を国内外に輩出してきました。本学の長い歴史と伝統の上に形成された医学科の教育理念が、「人間愛」、「地域貢献」、「国際的視野の涵養」です。

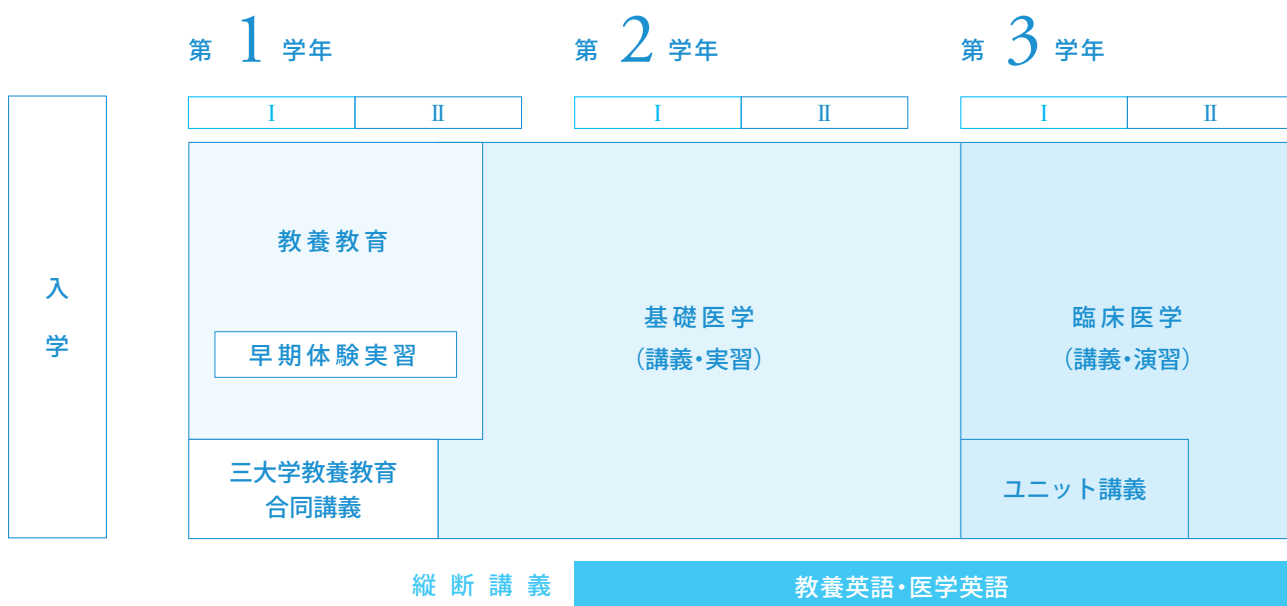
医学科では、幅広い教養、高い倫理観、高度の専門的知識・技術を有しプロフェッショナリズムを持ち合わせた優れた医師・医学研究者を育成するとともに、探究心旺盛で多様なニーズに対応でき、国際的に通用する人材を育成することを教育の使命としています。平成27年度に日本医学教育評価機構の医学教育分野別認証を受審し、平成29年に正式に認証を受けました。以来、「国際認証型」のカリキュラム教育を実施しています。また国が策定した「平成28年度改訂医学教育モデル・コア・カリキュラム」に収載の1790の履修項目を全てカバーし、これに加えて教養、基礎・社会医学、臨床医学の各教室の学体系を基盤とした独自のカリキュラムを盛り込みながら、医の心から最新の医学・医療まで広く学べるよう工夫しています。加えて、基礎・社会医学教室での研究配属、地域拠点病院での地域医療実習、さらに欧米、アジアを含む世界の協定大学医学部への派遣実習など、様々なプログラムが用意されています。学生と教員との距離が近いことも本学医学科の特色です。歴史と伝統の誇りを持ちつつも自主自立を旨とし、学生一人一人の視点や価値観を尊重した自由・闊達な学びの環境を提供します。

以上のような教育方針を十分に理解され、生涯にわたって学び自己研鑽し、医学・医療・社会に貢献しようという高い志をもった若者を、医学科は求めています。

# カリキュラム概要

## 卒前～卒後 一貫教育プログラム

学びの街・京都の恵まれた環境に広がる、河原町、広小路、下鴨の3つのキャンパス。設立以来、脈々と受け継がれてきた教育理念のもとに、歴史と伝統に培われた独自の基礎・臨床医学の統合カリキュラムによって、新たな時代を拓く医師及び医学研究者を育成しています。



## 教養教育(下鴨キャンパス)

### 専門分野への導入とともに人間性光る幅広い教養の習得

教養教育では、人類が築き上げてきた知の体系を学ぶと同時に市民としての自己を確立することを目指します。また、医学を学ぶための準備教育も行います。将来、医師・医学研究者となる医学生は、語学や自然科学の基盤的な学力を養うと同時に、人類・世界の未来を担う幅広い教養と視野を持ち、

他者を理解するコミュニケーション能力を養うとともに、現代の諸問題を理解するための知識とその解決策を探る判断力を養う必要があります。本学附属病院での早期体験実習や、基礎・社会医学系研究室で自ら考え主体的に研究に取り組む実習カリキュラムも用意されています。

## 英語教育

現代の医学における共通言語は英語です。日々新たな医学論文や医療情報は英語で発信され、自分たちの医学上の発見や医療情報を発信する際には英語で行います。本学では、第1学年だけではなく高学年でも縦断講義として英語教育を行い、英文の医学研究論文を読み取る能

力、医学研究成果や症例を英語で発表する能力、そして科学的な議論を英語で行なう能力の涵養に努めています。令和4年度より第4学年を対象に国際的な医療コミュニケーション能力の涵養を目的に「国際医学英語」を開講します。

## 基礎医学

### 充実した講義と実習を組み合わせ、医療・医学の根幹を学ぶ本学独自の基礎医学教育

基礎医学は人間の体の構造と機能を究明する学問であり、医学・医療の根幹をなす分野です。生命現象がどのようなメカニズムで精密に制御され調和を保っているのかを分子、形態、機能の多角的側面から学びます。さらに、このよう

な制御や調和が乱れて修復できなくなった時、疾病が起こるということを理解します。第2学年次に解剖学、生理学、分子医学、病理学、感染症態学、免疫学及び薬理学を学修し、臨床医学を学ぶ基盤を築きます。

## 社会医学

### 社会的存在としての人間の健康に着目し、包括的なケアによる予防、治療の実践手法を学ぶ

保健・予防医学では分子レベルの手法から、人々を集団として捉える疫学的手法まで様々な方法を活用して、社会との関わりにおける健康課題の解決を目指します。遺伝子の

レベルから人々の生活習慣や国際的な社会環境までを含む幅広い視野を持ち、健康課題に対峙する考え方を学びます。

### 現代社会の諸問題に対して法律的・医学的視点から学ぶ

現代社会では、犯罪の複雑巧妙化、死因不明死体の増加、死因の複雑化、虐待事案の増加、医療関連死の増加などの数々の新たに出現した社会問題に対して、法律上の争訟で

の医学的評価が必要な事案が増加しています。法医学では、こうした数々の社会問題への評価・対応を、法律のおよび医学的視点から学びます。

カリキュラム概要

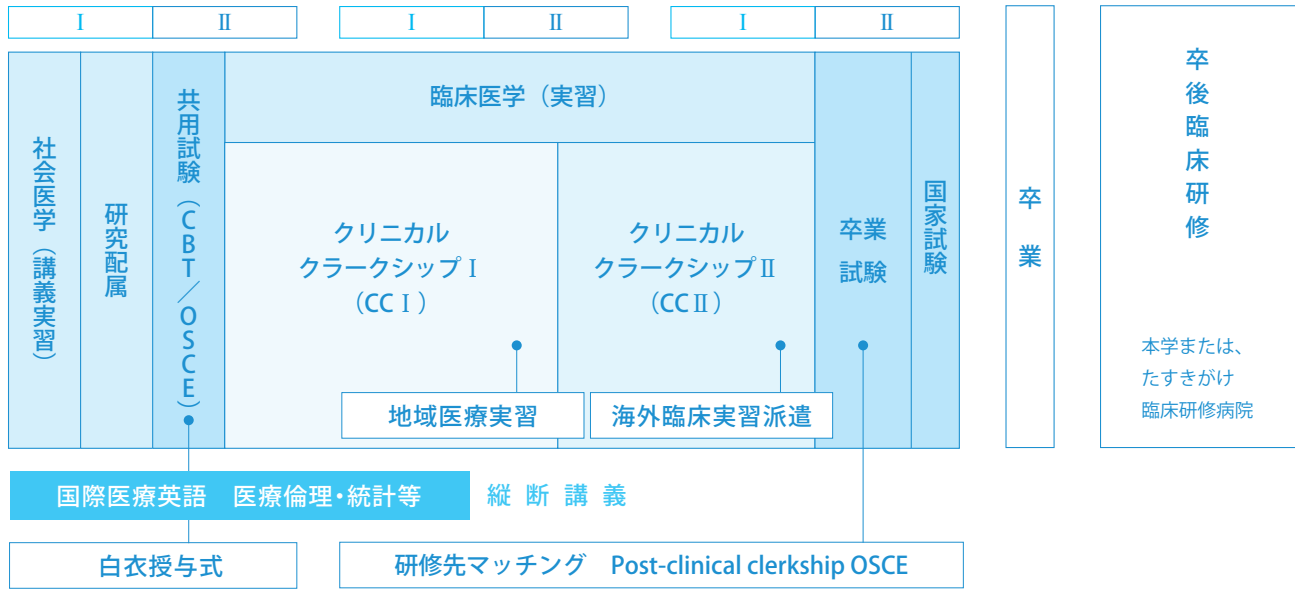
入学～卒前臨床研修～卒後臨床研修までの8年間でサポート

第4学年

第5学年

第6学年

7,8年目



医  
学  
科



## 基礎・社会医学教室への研究配属

第4学年の6月から6週間に亘って基礎・社会医学系教室の研究室に配属されます。ここでは基礎研究を体験し、実験手技を学んだり基礎医学教員の姿に触れたりしてリサーチマインドや能動的に新しい分野にチャレンジする態度を

養います。意欲のある学生は教官の指導の下に学会での発表や論文執筆を行い、さらに海外の研究室での研究にもチャレンジしています。

## 臨床医学講義

### 高度な専門医学を統合的に受け止める能力を涵養する

臨床医学の進歩はめざましく、臨床医には高度に細分化された専門知識と技能が要求されています。同時に、専門的な知識と技能を統合して受け止める能力を持ち、幅広い理解の下に臨床医学を実践できる医師が求められています。

本学では、このような資質を持った医師の育成を目指して臨床医学の教育を進めています。また、附属病院が誇る世界トップレベルの最先端医療に触れることにより、医療の持つ無限の可能性を感じることでしょ。

## ユニット講義

従来の基礎・臨床医学の枠を超えて、臓器別の疾患をよりよく短期間に理解・習得するために、「循環器」「消化器」「呼吸器」および「神経」の4領域についてはユニット講義を行っています。一定期間に臓器別の内科学・外科学・放射線医学等と(水平統合)、病理学を主体とする基礎医学を有

機的に統合し(垂直統合)、期間の終了時にはそれぞれの定期試験を行い評価します。Problem based learning (PBL)やTeam based learning (TBL)の手法を積極的に取り入れ、臓器別メディカルセンター(病棟)での臨床実習に備えます。

## CBT/OSCE

第4学年の2学期には、全国レベルの統一テストであるCBT(Computer-Based Testing)と、臨床実技の試験であるOSCE(Objective Structured Clinical Examination)を受験

します。両者に合格し、全ての臨床医学科目の座学の履修を完了すると"Student Doctor"の称号が与えられ、臨床実習への参加が許可されます。

## 白衣授与式

臨床実習への参加が許可された者にはStudent Doctorの称号が授与されます。また「白衣授与式」では大学のLogoの刺繍のついた白衣が、学長から授与されます。学生

諸君は新たなスタートに向けて身の引き締まる思いで白衣を受け取り、年明けからの臨床実習に臨みます。

## 臨床実習(クリニカルクラークシップ:CC I, CC II)

### 医師としての第一歩がスタートする臨床実習

第4学年1月から始まる臨床実習では、医療チームの一員となって医療現場を経験し、様々な疾患の病態や診断・治療を学びます。臨床実習で得られる知識や技能はとても大切なものです。前期実習のCCIでは少人数の班に分かれてすべての診療科や検査部門をローテートし、主に外来やベッドサイドの患者さんを対象とした実習を行います。ここでは単に暗記した知識だけで対応するのではなく、自ら問

題を見出し、自ら問題を探求・解決するという姿勢が求められます。また、医師が患者さんやご家族と如何に関わっていくべきかを学びます。後期実習のCC IIでは、主として本学の教育関連病院で実習を行い、大学病院とは異なる臨床現場を経験します。各病院の担当医は本学の臨床教授や臨床准教授を兼ねており、大学だけでなく、教育関連病院も一丸となって有機的な臨床実習が行われています。

## 在学生の声



## 医学科 第1学年

堀畑 直希 (京都府・洛南高等学校 出身)

第1学年は附属病院のある河原町キャンパスではなく、京都府立大学のある下鴨キャンパスで、教養教育に関して学びます。教養教育の中には医療に関する授業もあり、1年時から医療のあるべき姿について考え、教授の講義やクラスメイトとの議論により考えを深める機会があります。残念ながら現在(2021年6月)はほとんどの授業がオンラインではありますが、授業中のグループディスカッションや早期体験実習などで定期的に同回生と交流することができます。また、一部の授業は、京都府立大学、京都工芸繊維大学との3大学合同で行われ、医学生だけではなく将来様々な職業につくであろう人たちとともに教養を学ぶことができます。

色々และไม่自由も多いこのご時世ですが、自分から学ぼうと思えば多くのことを学べるチャンスが用意されています。皆さんが本学に入学し、良き医師になるために勉強面でも生活面でも充実した大学生活を送れることを願っています。

## 医学科 第4学年

長山 透流 (島根県・島根県立松江北高等学校 出身)

所属クラブ：合唱部(混声合唱団たちばな)

第4学年では引き続き臨床医学を学びます。理解し記憶に留めるべきことが増えてきますが、知識を積み上げるほどに以前習った基礎医学がそのベースとなっていることを実感します。研究配属の期間があり、日々プロとして研究している先生のご指導の下、基礎医学・社会医学の研究を体験できます。

年度後半から臨床実習が始まり、実地的な学びも並行していくこととなります。自分の将来像がますます想像しやすくなる時期と思います。

府立医大の魅力はなんといってもその学風と立地だと思っています。色々なことを面白がり、何にでも挑戦する風土が府立医大にはあります。大学や医学に関わることでそれ以外のことで、自らが主体となり活動を生み出している人がたくさんいます。チャンスを求めれば、学年を越え魅力的な人との出会いが多くあります。先生と話をすれば面白がって聞いてくださり、そして自分の若き日のことまで教えてくれたりします。

美しい鴨川沿いのキャンパスでともに学びませんか。



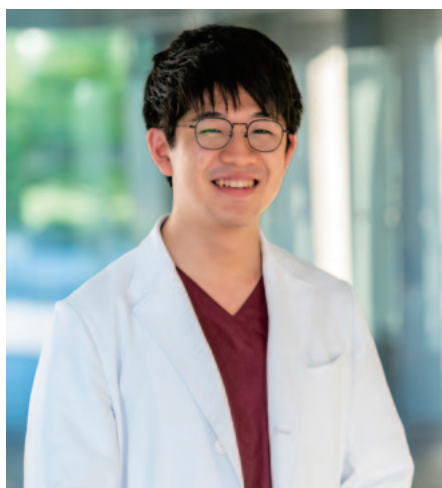
## 医学科 第6学年

井田 学 (大阪府・高槻高等学校 出身)

所属クラブ：バドミントン部、演劇部、医道部

第5学年の後半から第6学年にかけて、クリニカルクラークシップII(以下、CCII)と呼ばれる病院実習を行います。CCIIでは計8個の診療科を1ヶ月ずつ回ることで、より総合的に医学を学習できます。4~5年生の頃と異なり、先生方と一緒に治療方針を考えたり、基本的な手技の補助をさせていただいたり、多職種のスタッフの方と協力することで、主体性を養い、チーム医療の必要性を感じることが出来ます。また、大学病院だけでなく、本学の関連病院での実習も可能で、地域ごとの医療の特性を知り、より多角的な視座で医療を見つめ直すことが出来ます。本年はCOVID-19の影響で中止となりましたが、本学は国際交流も盛んであり、来年度以降はCOVID-19を考慮した海外実習が検討されると思います。

どの先生方も熱心に指導して下さるので、積極的に学ぶ姿勢があれば、どこまでも成長していける環境です。みなさんが本学に入学され、理想の医師像を追求されることを祈っています。



卒業生の声

**昭和30年卒業 藤田 哲也 (本学元学長)**  
 ルイ・バストール医学研究センター 分子免疫研究所シニア・フェロー  
 昭和52年朝日賞、平成2年島津賞 平成8年紫綬褒章  
**誇らしき哉、わが母校**



私が京都府立医科大学を常々誇らしく思うのは、その創立以来一度も中断することなく続いた歴史が148年にも及び、これが東京大学医学部創立に遅れること僅か3年で創立された医学教育機関として、本邦第二位であり、卒業生の数もそれに比例して多いというような物理的な数値だけを意識しているわけではありません。私は、母校の卒業生が実に多彩な分野で活躍しているということをも誇らしく思っています。国内だけでなくアメリカやドイツなどの有名な大学で傑出した活躍をしている教授や研究者たちもおれば、臨床家でありながら岩波文庫で近代詩集を残した詩人、映画監督として一流になった人、作曲家兼演奏家として一世を風靡したのち医系の大学教授になった人など、わが母校がいかにリベラルな人間らしい教育をしてきたか、如実に証明していると思っています。当然ですが、臨床医師として京都府を中心に活躍している人の数は一番多く、この意味で母校が地域医療に貢献している程度は、全国の医系大学では最高であることに間違いはありません。一方、看護学科も実は、明治22年、日本政府公認の産婆講習所の開設以前に、明治5年から療病院で、ドイツ人医師ヨシケルが看護師(助産師含めて)の教育を始めており、これは疑いもなく日本で最初の洋看護学教育の始まりを告げるものでした。私が母校、京都府立医科大学を卒業したのは昭和30年でしたから今年で64年になりますが、私が直接目撃してきた母校の発展振りに、毎日、大きな誇りを感じているこの頃であります。

**昭和57年卒業 島田 和明**  
 国立がん研究センター中央病院 院長  
**個性を尊び、国内外にはばたく医師を育成する我が母校**



京都府立医科大学卒業後の進路で悩んだ際に、当時の学長や外科教授の先生方が親身に相談にのっていただき、東京大学の外科教室にご紹介いただいたのが、現在の国立がん研究センター中央病院肝胆脾外科で勤務するきっかけになりました。本学は140年以上以上に及ぶ歴史のある医科大学です。長く続く伝統ゆえに深めたい印象を与えますが、本学には学生を大事にする懐の深く、温かい教育方針を感じます。皆様にもこのような本学に入学者、個性を尊び、国内外にはばたく医師を目指していただければ幸いです。

**昭和58年卒業 大森 浩二**  
 医療法人大森医院 理事長  
**地域医療への取り組みが評価されて**



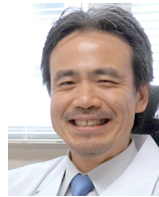
卒業後は外科に入局し、手術・救急の現場で目の前の患者さんを助けるのに必死でした。開業後は、地域のかかりつけ医として診療を行うと共に、より良い在宅医療を実現するために多職種チームで患者さんご自身とご家族の思いに寄り添い、看取りなども行っています。また、地区医師会の皆と勉強会を立ち上げたこと、ICTを利用して医療情報の共有を進めたこと、大規模災害に際し日本医師会災害医療チームJMAT京都の一員として東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨災害に出勤したことなどが評価され、第5回日本医師会赤いけだ賞を受賞し、当時の皇太子殿下とお話する機会にも恵まれました。今も、診療や医師会活動の中で府立医大諸先輩、後輩や同期生に恵まれていることに感謝しています。

**昭和63年卒業 大谷 直子**  
 大阪市立大学大学院医学研究科・病態生理学 教授  
**今に生きています。京都府立医科大学で得たもの**



私は学生時代に生化学の講義で、当時米国から帰国直後の先生から最先端のがん研究の話や、研究に強い興味を抱きました。それがきっかけとなり内科研修後、基礎医学者の道へ進み、海外留学も2回経験し、現在に至っています。在学中は部活と勉強、研究に打ち込み、充実した毎日でした。このころに身につけた体力や粘りが、その後の研究と子育ての両立にもつながっていったと思います。若い皆様にはぜひ、いろいろなことにチャレンジし、世界を見据えた医療人を目指してほしいと思います。

**平成2年卒業 市川 大輔**  
 山梨大学医学部 外科学講座第一教室 教授  
**京都から世界へ**



卒業後は、附属病院や多数の関係病院で多くの先輩方から教えを受け、数多くの手術症例を経験する機会に恵まれました。また、同窓の先生方が、「医療」だけでなく基礎研究や臨床研究など「医学」分野においても、学内のみならず国内外で活躍されており、そのネットワークは我々の誇りです。歴史溢れる京都の街で豊かな人間性を育みながら、歴史と伝統を備えた本学で学び、国内外で良き医療人として活躍されることを願っております。

**昭和48年卒業 香川 恵造**  
 市立福知山市民病院 院長  
**伝統と変革の融合した、我が母校**



本学は長い歴史の中で、変革を繰り返しながら発展し、今日に至っています。万事目の肥えた京都人が病気になる、「府立病院に行く」というのを学生時代からよく耳にしたものです。「臨床の府立」といわれる所以です。内科の教室に入り、多くの国際学会で発表する機会を得ましたが、いずれの場合も自信を持って臨むことができました。それは、国際的にも通用するアカデミックな環境を先輩たちが磨き上げてこられたからに他なりません。理想に燃え、良き医療人になるという熱い思いを共有できる環境こそ、我が母校の誇りといえましょう。

**昭和56年卒業 原 邦夫**  
 地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター  
 スポーツ整形外科センター長  
**国民栄誉賞をいただきました**



卒業当時に関節鏡が導入され、臨床医として膝韧带再建術、半月板手術をしています。スポーツ外傷を中心に当院で2003~18年に行った鏡視下手術は5000例に達し、競技復帰のリハビリに運動生理学的な評価を導入しました。患者さんは高橋大輔氏などオリンピックでメダルを獲得した選手もおられます。女子サッカー日本代表のチームドクターを1989年から勤め、2011年ドイツ杯優勝では「なでしこJAPAN」の一員として国民栄誉賞をいただきました。根気よく継続すれば良いこともあると実感しています。

**昭和58年卒業 高升 正彦**  
 綾部市立病院 院長  
**地域医療でがんばっています**



府立医大を卒業後、当時の第3内科に入局し、平成2年から綾部市立病院で勤務、平成30年より院長を拝命しています。最近ではGPやCC IIなどの実習で学生が来ることも多くなり、卒業して時間が経過してからのの方が、府立医大のOBであることをより意識するようになってきています。夏期早期体験実習の際に大学の校章の入った白衣を一着いただき、母校愛を感じながら診療しています。「世界トップレベルの医療を地域へ」という理念が実現することを目指して、大学とともに地域医療に従事することも府立医大の大きな魅力の一つです。

**昭和62年卒業 中井 浩之**  
 オレゴン健康科学大学医学部 分子遺伝医学 教授・分子微生物学免疫学 教授  
 オレゴン国立霊長類研究センター神経科学部門上席研究員  
**京都府立医科大学医学部医学科卒業生の多彩なキャリアパス**



医師のキャリアパスは多様化し、医学知識・技能を最大限に生かせる場がますます増えてきています。私の場合、卒業後、内科医としての修行の後、米国企業勤務、大学ポスドクを経て米国で大学医学部の教授職に就きました。現在米政府と日米企業から資金援助を得て、最先端の遺伝子治療研究を行うとともに、米国の学生に医学研究の楽しさと魅力を伝えています。本学では、私もそうであったように、多様化したキャリアパスのアドバイス、サポートしてくれる先輩との出会いがあります。

**平成元年卒業 川野 美香**  
 International Health Regulation / Health Security and Environment  
**世界保健機構 (WHO) ジュネーブ本部の窓から**



4年の外科の臨床勤務の後、厚生省(現厚生労働省)へ医系技官として入省、健康政策局健康指導課、業務局審査課を経て、世界保健機構(WHO)に勤務22年目になります。京都府立医科大学は公衆衛生の視点で医学教育の随所に織り込まれており、医学だけでなく、それを取り巻くシステムや環境にも目を向ける姿勢が自然と身に着いたように思います。現在はWHOの感染症対策局にあり、エボラやコロナの対応に携わる傍ら、WHOのInternational Travel and Healthの改訂も担当しています。

**平成26年卒業 藤野 雄三**  
 京都府立医科大学附属病院 大学院生  
**医師、研究者として患者さんに向き合う**



アルツハイマー病やパーキンソン病、ALSなどの神経変性疾患は、確立された予防法や治療法がなく、患者様・家族様・社会全体の重大な健康問題です。私は脳神経内科医と研究者という両面から、これらの疾患に立ち向かいたいという希望を持っています。本学の魅力は、質の高い臨床力と、豊富な研究の素地があることです。これらは車の両輪のような関係で、より良い医療の実践と発展のために不可欠なものであると考えます。経験豊富な先輩方から、日々新たな刺激を受け、本学の環境で研鑽を積めることは、私にとって大きな財産です。

# 医学部

看

護

学

科

School of Nursing



# 看護学科の教育方針

看護学は実践の科学です。19世紀の半ば、F.ナイチンゲールは、ヨーロッパで中世から修道女達によって行われてきた看護を理論づけ、また看護の効果検証に統計学を用いるなど、科学的根拠に基づいた看護を実践することで、現代に繋がる近代看護学の礎を築きました。

本学の看護学科は、我が国における近代看護学教育の黎明期、1889年(明治22年)に開設された京都府医学校附属産婆教習所を淵源とし、これまで130年の間に1万人を越える看護職を輩出するなど、ナイチンゲールの存命当時から続く数少ない看護師等養成機関の一つであり、2002年(平成14年)には、京都府で初めての看護系大学(医学部看護学科)となり現在に至っています。

看護職者には生命や人間の尊厳を尊重できる豊かな人間性と創造性が必要です。また、専門的な知識や技術は元より、主体的な看護を実践するための科学的思考に基づく判断力、チーム医療を推進する上での協調性及び調整能力に加え、国際化が進む中、豊かな国際感覚とコミュニケーション能力も求められます。

長い歴史を通じ伝統として、今も息づく「Heart、Hand、Head」(心と技術と知識のバランスのとれた看護職者の育成)の精神が受け継がれています。

本学の看護学科では、この理念を基底に、全人的な理解の上に立ち看護を展開できる看護職者の育成に向けて、人としての感性を磨き、視野を広げる「基礎・教養科目」、看護学の基礎を学ぶ「専門基礎科目」、専門性を培い、その能力をさらに高める「専門科目」を段階的に学修することで、看護専門職として、また、社会に貢献できる有為な人材として、必要となる総合的な能力の涵養を図っています。

QOL(クオリティ・オブ・ライフ)の概念が社会に浸透し、Cure(キユア)だけではなくCare(ケア)の重要性に注目が集まる中、Careの追究を学問領域とする看護学の重要性はますます高まっています。

将来に向けて看護を学び続ける意欲と姿勢を持ち、自立した看護職者となれるよう、私たちが学生の皆さんとともに努力を重ねてまいります。

# カリキュラム概要

看護学科では、基礎・教養科目、専門基礎科目、専門科目を配置し、それぞれの講義・演習・実習を通じて、生命及び人間の尊厳を基盤に豊かな人間性と創造性を培い、看護専門職として総合的な能力を有し社会に貢献できる人材を育成するために、以下に示した6つの方針に従ってカリキュラムを組み立てています。

- 1 生命及び人間の尊厳の理解に基づく高い倫理観の形成、人間性及び環境への深い洞察力の育成
- 2 看護の専門職として必要な知識・技術・態度とあらゆる看護の場において主体的に看護が実践できる能力の育成
- 3 科学的思考に基づいた判断力、問題解決能力の育成
- 4 地域医療やライフステージなど様々な看護ニーズに応えることのできる、保健・医療・福祉との連携・調整を図る能力の育成
- 5 国際理解とコミュニケーション能力を基にして、グローバルな視野で健康問題を理解し、看護活動ができる能力の育成
- 6 社会の変化に対応して看護を発展させ、自ら課題を探求し、研究していくことができる基礎的能力の育成

## 総合的な能力を育む基礎・教養科目、専門基礎科目、専門科目

	基礎・教養科目	専門基礎科目	専門科目		
			看護学の基本	看護学の展開	看護学の統合と発展
生命及び人間の尊厳の理解	生命倫理、人権論など		生活援助論、基礎看護学実習	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の演習	
主体的に看護が実践できる能力		人体構造機能論、生化学など	看護基礎理論、看護方法論など	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の実習	看護の統合と実践(実習)
科学的思考に基づいた判断力、問題解決能力			ヘルスアセスメント看護方法論	成人・小児・母性・老年・精神・在宅の実習	研究方法論 看護課程の展開 反復した実施
保健・医療・福祉との連携・調整を図る能力		社会福祉学、医療と経営、家族社会学など		成人・小児・母性・老年・精神・在宅の実習	看護の統合と実践(実習)
国際理解とコミュニケーション能力	英語、中国語、ドイツ語、フランス語、英会話、国際情勢の理解				国際看護・国際保健、国際看護英語
自らの課題を探求し、研究していく基礎的能力					研究方法論、看護マネジメント論、災害看護論など



## 履修体系

第1学年

第2学年

第3学年

第4学年



### 第1学年

基礎教養は看護学舎と下鴨キャンパスで学びます。



### 第1,2学年

専門基礎科目と看護の基本を学びます。



### 第3学年

専門科目と看護学実習を学びます。



### 第4学年

これまでの学びを統合し看護実践能力を高めるための科目が配置されています。



看護の統合と実践



卒業研究発表会

## 4年間を通したキャリア教育

看護学科の学生が、自らの将来・人生をしっかり設計し、自立した職業人としての生涯学習力や専門職業人として共同して働く能力を育むため4年間にわたり、講義、演習、交流、体験、個別指導、個別相談など多様な学習方法を用いたキャリア教育を行っています。



キャリア教育



看護の統合と実践

## 保健師・助産師コースの履修について

看護師に加えて、保健師・助産師を目指す人は、地域看護学・助産学の選択科目を履修することができます。ただし、履修者は、3年次に上がる段階で、希望者の中から選考により決定します。(保健師20名以内、助産師10名以内)

## 保健師コース

## 地域看護学選択

## 【保健師とは】

保健師の働く場所は、都道府県や市町村といった行政機関、学校や企業等の種類があります。保健師は、地域で暮らす様々な年代や健康状態の人々を対象に、健康を守る役割を担っています。妊婦教室や乳幼児健康診査、高齢者の介護予防、障害者の保健指導、保健計画の策定など、その活動範囲はとても幅広くバラエティに富んでいます。

## 【本学の保健師教育】

本学の保健師養成課程は1951年に始まり、現在に至るまで京都府内を中心に多くの先輩を輩出しています。本学では、地域で暮らす個人・家族・集団を「見る」そして「動かす」ちからを大切に育てています。講義科目と現地実習を連動させた学習体系の中で、学生は保健師に求められる知識と実践能力を学びます。



## 助産師コース

## 助産学選択

## 【助産師とは】

江戸時代、お産の介助は産婆として職業化され、仕事の時には大名行列を横切ることが許されるなど、“お産の専門家”として、人々の尊敬と信頼を集めていました。

現在の助産師も、独立して助産院を開業することができるなど、助産行為の専門職として、助産診断を行うとともに、助産ケアを通じて、女性の妊娠・出産、産褥期が心身共に健康に過ごせるよう援助するほか、育児指導や不妊相談、更年期の健康相談などその活動は幅広く、女性の一生、そして家族に寄り添う職業です。

## 【本学の助産師教育】

1889(明治22)年京都府医学校に附属産婆教習所が設置されてから130年の歴史があり、多くの卒業生が国内外で活躍しています。本学では、確かなエビデンスに基づいた知識や、女性が本来持つ「産み育てる力」を最大限に発揮できる助産ケアを講義・演習・実習で学びます。

地域における育児支援や健やかな思春期の成長発達を支援する助産師の役割は益々拡大しており、本学ではこのように高度な周産期医療を支える質の高い助産師教育を行っています。



## 卒業後について

地域の医療機関や施設において、看護師として従事するほか、保健師、助産師として活躍する道も!

### 卒業後の進路

卒業に必要な単位を取得することで、看護学士の学位、看護師国家試験の受験資格、また科目の選択により、保健師又は助産師国家試験の受験資格が得られます。

看護師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成31年	81	81	100.0	94.7
令和2年	81	79	97.5	94.7
令和3年	88	88	100.0	90.4

### 取得できる資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格(地域看護学履修者)
- 助産師国家試験受験資格(助産学履修者)
- 受胎調節実地指導員申請資格(助産学履修者)
- 養護教諭二種免許

保健師免許取得後、在学中に所定科目(※)を修得した者は申請すれば取得可能。

※教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

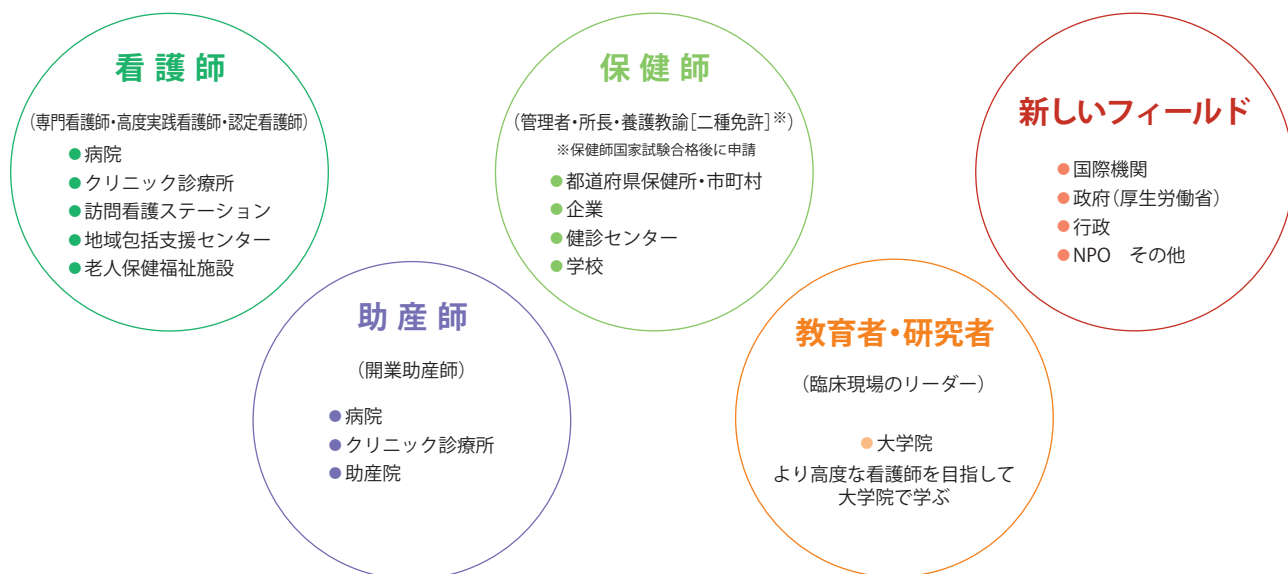
保健師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成31年	18	18	100.0	88.1
令和2年	20	20	100.0	96.3
令和3年	20	20	100.0	94.3

助産師国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国平均合格率(%)
平成31年	10	10	100.0	99.9
令和2年	9	9	100.0	99.5
令和3年	10	10	100.0	99.6

### 卒業後の活躍のフィールド



卒業後は、皆さんの将来に多様な活躍の場が開けます

## 在学生の声



## 看護学科 第1学年

林 希美 (和歌山県・智辯学園和歌山高等学校 出身)

新型コロナウイルスによる影響が昨年より続いているため、オンラインの授業で勉強についていけるか、友達はできるのかなどの不安もたくさんありました。しかし、素晴らしい先生方や親切な友人に囲まれ、今では勉強面、生活面ともに充実した大学生を送ることができています。

一年生では、一般教養を学びながら専門分野も学んでいくことで、知識の幅が広がるのを実感できます。わからないところがあっても、先生に質問をしたり、友人とともに考えたりすることで学びを深めることができます。自分の夢に向かって少しずつ近づいているのを感じながら、日々過ごしています。

本学での学び、出会いはとても素晴らしいものです。

皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

## 看護学科 第4学年(地域看護学選択)

山本 真緒 (京都府・京都府立宮津高等学校 出身)

所属クラブ：準硬式野球部

私は地域看護学を選択しています。第3学年から本格的に地域看護学の授業がスタートしました。20人という少人数での授業が行われるため、質問や意見がしやすい環境が整っています。授業では地域の特性をつかんだり、地域の人々に健康に興味をもっていただく工夫を考えたりしています。学生同士、学生と先生方との距離が近いいため、グループワークを通して様々な意見交換を行い、学びを深めています。地域看護学を専攻することで授業や実習等学びの機会は多くなりますが、仲間と協力し、先生方にもサポートしていただきながら、日々充実して楽しく過ごしています。

地域で生活する新生児から高齢者の方まで幅広い年代の方の健康とその人らしい暮らしを、家族を含めてサポートできることは地域看護学の大きな魅力だと思っています。皆さんも本学で地域看護学を学び、素敵な保健師を目指してみませんか。



## 看護学科 第4学年(助産学選択)

鈴木 美侑 (京都府・京都府立桃山高等学校 出身)

所属クラブ：軽音楽部

私は助産学を履修しています。第3学年から本格的に授業がスタートし約1年半が経ちました。授業では紙上事例を通してお母さんや赤ちゃんのアセスメント、保健指導をするだけでなく、学生同士で助産師役と妊婦さんに分かれて演習したりモデル人形で分娩介助をしたりなど臨床を想定した演習がたくさんあります。助産学履修生は私を含め8名と少ない人数だからこそ、一丸となり意見交換や質問がしやすい学びやすい環境となっています。また、先生方がひとりひとりの生徒に丁寧に指導して下さることで基本的な知識や技術、思考が確実に身につけているのを実感しています。従来の看護学の講義や実習に加え助産学の講義、実習をこなすことは大変で忙しいですが先生方のサポートや7人の仲間たちのおかげで毎日楽しく学ぶことができています。

助産師は名前の通り、お母さんの出産をサポートするイメージを持っておられる方も多いと思いますが女性を一生涯にわたってサポートできる職業です。私はそんな素敵な職業に就けるときが近づいてきている喜びを感じながら日々やりがいをもって授業や実習に取り組んでいます。

皆さんも本学で素敵な助産師さんを目指してみませんか。



## 卒業生の声



## 母校は看護を温かく見守り育てる母のような存在

本学附属病院 副病院長 兼 看護部長

藤本 早和子 京都府立医科大学附属看護専門学校 平成2年度卒業  
京都府立医科大学大学院 保健看護学研究科 平成28年度修了

母校である京都府立医科大学附属看護専門学校を卒業後、附属病院に就職して現在に至ります。平成16年にがん性疼痛看護認定看護師を取得致し、平成25年には緩和ケア病棟の看護師長として緩和ケアに携わり、平成27年から本学大学院保健看護学研究科において、臨床での疑問を学術的な側面から可視化する方法論を学ぶことができました。

平成30年4月、副病院長兼看護部長を拝命し、京都府民の皆様へ質の高い看護が提供できるよう尽力しています。母校は、様々な形で自分の看護を温かく見守り、育ててくれる「母」のような存在です。皆さんも、この大学で真の看護を育んでいただきたいと思います。願っております。

## 看護職として学生時代から大切にしてきたこと

京都府立医科大学看護学科同窓会会長 元佛敎大学・京都府立医科大学敎授

中川 雅子 京都府立医科大学附属看護学院 昭和48年卒業

学生時代の「看護職は患者の医療を支える両輪の1つ」という先生方の言葉が心に残っています。附属病院看護師、看護専門学校教員を経て、聖路加看護大学大学院修了後、母校や佛敎大学看護学科で敎鞭をとりました。学生時代に患者の立場で考え、患者の代弁者になりなさいという敎えは大切な軸となっています。

令和の春からは、看護学科同窓会会長の重責を務めることになりました。看護は人々の人生を、ケアを通して知り、共に悩み、健康を取り戻す喜びを体験できる魅力ある仕事です。母校で看護の道を歩まれる後輩が増えることを楽しみにしております。



## 現在につながる大学4年間の学び

京都府健康福祉部医療課 主任

川南 明日香 京都府立医科大学 医学部看護学科 平成23年度卒業

大学を卒業後、保健師として京都府に就職しました。保健所で健康づくりや感染症対策などを経験し、現在は京都府庁で看護職の養成対策などを担当しています。

在学中は、実習やボランティアに参加し、地域の人々とふれあう中で、様々な視点を持つこと、過去や未来も含めてその人の人生を一体的に考えることの大切さを学びました。大学での学びや経験は、今でも気付きに繋がることがあります。

実習で悩むことはありましたが、友人や個別に相談にのってくださる先生方に支えられ、充実した学びの時間を送ることができました。勉強だけでなく、いろいろな経験を通して人と関わり、看護職者を目指して有意義な学生生活を過ごされることを願っております。

## 「看護に向き合うための大切な土台」を作ってくれた母校

本学附属病院 C5号病舎

久保 亘 京都府立医科大学医学部 看護学科 平成29年度卒

本学の何よりの特徴は、歴史のある看護学科であり、多くの卒業生が活躍する附属病院で実習ができ、熱心に指導してもらえることだと思います。私も学生だった頃はとてもお世話になりました。現在、学生だけでなく後輩ナーズを敎える立場になっていますが、学生の頃に敎えて頂いた貴重な知識や経験を生かし丁寧に関わらせて頂いています。指導側になって改めて感じる本学の大きな強みは、基礎を学びながらも、臨地実習の場がすぐそばにあること。この環境は、看護師としての大切な土台を作ることができると思います。

卒業後、もう10年近く看護に向き合っていますが、看護の世界はとても奥深く、まだまだ勉強不足だと感じるころばかりです。男性の方は看護師を目指すことに、少しためらいを感じている方もおられると思いますが、実際に働くこととは忘れてしまうくらいやりがいのある仕事です。男性だからこそ気付けること、患者さんの役に立てることもあります。本学で皆さんにお会いできる日が来ることを楽しみに待っています。



## 大学院での学びについて

京都府立医科大学医学部看護学科母性看護学 助教

前田 圭子 京都府立医科大学大学院 保健看護学研究科博士前期課程 令和2年度修了

大学卒業後、看護師、助産師として臨床現場で働き、後輩や学生の敎育にも携っていました。そして、敎育の難しさを痛感しており、敎育と研究についてさらに学びを深めたいと本学大学院保健看護学研究科に進学しました。

大学院では、主体的に学ぶ姿勢はもちろん、一緒に学ぶ仲間も様々な年代の医療関係者であり、専門分野の知識、看護観、倫理観が豊富である仲間との交流は、互いに刺激し合いながら学習することができました。専門的な知識と倫理観、研究に対する基礎的能力、さらに敎育に必要な知識と技術についても学修できました。有意義な学生生活を過ごすことができ、私の財産となっております。

専門的知識と刺激し合える仲間との出会い、学び続ける姿勢を高めることができる本学の保健看護学で有意義な学生生活を送られることを願っております。

# 大 学 院

Graduate School of Medical Science

## 大学院医学研究科

医科学専攻(修士課程) 統合医科学専攻(博士課程)

**医科学専攻(修士課程)** 定員：10名 修業年限：2年 学位：修士(医科学)

### 学びの意欲にあふれる他学部の卒業生を対象に医科学の基礎的教育を体系的に提供

医科学専攻修士課程は、理学、薬学、工学などの医学以外の大学の学部を卒業後、医科学に高い志向性を持ち、大学院においてさらに研究を深めたいと願う学生に対して、医科学の基礎的教育を体系的に提供し、個々の特性を生かして医学研究の学際的展開を図りうる研究者、技術者、ヘルスサイエンスの専門職として質の高い人材を育成することを目的としています。そして専攻や分野の別を超えて、研究マインドと優れた研究能力を備えた医療系人材の養成を目指しています。

医学隣接領域の背景をもつ学生が、本修士課程を通じて、出身領域と医科学を融合させ、これからの医科学分野をリードし得る優れた研究者、技術者や、ヘルスサイエンス分野の高度な専門職として羽ばたいてほしいと期待しています。

**統合医科学専攻(博士課程)** 定員：70名 修業年限：4年 学位：博士(医学)

### 世界をリードする創造的医学人材の育成

統合医科学専攻博士課程の修業年限は4年であり、グローバルに発信する先端医学研究とローカルに実践する高度先端医療を実現できる人材育成を目指します。地域に根ざしそこに暮らす人々に寄り添う医学・医療を実践してきた本学には、地域ネットワークやレジストリデータなどの特色あるリソースの基盤があります。また、独創性の高い世界レベルの基礎研究を発信してきた歴史もあり、基礎的分野から臨床医学まで、高度かつ融合的な医科学研究の指導を行います。

### 専門特化された履修内容及び充実の研究指導体制により、国内外の研究機関で活躍する優れた研究者を輩出

統合医科学専攻の下には「総合コース」と「がんプロフェッショナル養成専門コース」があります。総合コースでは専門領域として、地域医療・社会医学、発達・育成医科学、先端医療・ゲノム医学、生体情報・機能形態学、病態解析・制御医学、機能制御・再生医学の6分野が置かれています。

がんプロフェッショナル養成専門コースでは質の高いがん専門医の養成を目的として、がんに特化した基幹科目を履修し、がん診療の専門的教育を受けながら密度の高い大学院教育を受けることが出来る環境を提供しています。

大学院修了後は、大学教員や研究機関などで、また保健行政機関や関連病院などで、専門的知識を生かした医学研究者・高度医療人として活躍する人材が多数います。





# 大 学 院

Graduate School of Nursing for Health Care Science

## 大学院保健看護学研究科

保健看護学専攻(博士前期課程)

保健看護学専攻(博士後期課程)

### 現代的なヘルスケアニーズに即した研究と実践

医療の飛躍的進歩や多様化、急速に進展する高齢化に伴い、高度医療の現場や地域社会において質の高い看護実践能力を備えた看護職者が求められています。

京都府内で初めての看護系大学院として2007年(平成19年)に開設され、12の研究領域を有する保健看護学研究科(博士前期課程)では、2011年(平成23年)にがん看護専門看護師(がんCNS)コースを設置するなど、高度な専門性を持った看護職者や教育・研究者として必要とされる能力を涵養しています。

また、2018年(平成30年)開設の博士後期課程では、臨床、地域包括ケアなど多様な分野で指導的に活躍できる高度専門職業人及び学際的な保健看護学の教育・研究者の育成を図ります。

#### 保健看護学専攻(博士前期課程) 定員：8名 修業年限：2年 学位：修士(保健看護学)

博士前期課程では、共通科目と専門科目の学修を通じて、高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力と豊かな人間性や高い倫理観を涵養し、「世界トップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、保健医療の分野における学際的展開ができる保健看護学の研究者及び指導力を発揮できる高度な専門職業人を育成します。

#### 研究領域

- 老年・在宅看護学 ● 地域看護学 ● 女性生涯保健学 ● 母性看護学・助産学
- 臨床健康科学・臨床腫瘍学 ● 看護倫理・管理学 ● 基礎看護学 ● 成人看護学 ● 精神看護学
- 小児発達保健学 ● 小児看護学 ● がん看護学

#### がん看護専門看護師(CNS)コース

本コース修了者は日本看護協会の認定審査を経て、がん看護専門看護師の資格を得ることができます。また、2017年(平成29年)からは38単位教育課程として、ケアとキュアを統合した高度な看護実践能力を有するがん看護専門看護師を養成しています。

#### 保健看護学専攻(博士後期課程) 定員：3名 修業年限：3年 学位：博士(保健看護学)

博士後期課程では、健康的な地域づくりを支えるための看護実践に活用可能な理論構築やシステム開発を目指し、科学的な思考に基づいた看護ケアニーズを解決するための高度な教育・研究を推進します。また、研究者として自立して研究活動を行うために必要な研究能力およびその基礎となる豊かな学識の涵養を通じて、保健看護学の研究推進に必要な高い倫理観、保健看護学に裏付けられた高度な研究能力と実践能力や教育能力を備えた高度な専門職業人及び学際的展開を図ることができる保健看護学の教育・研究者を育成します。

#### 研究分野

- 基盤実践保健看護学 ● 広域実践保健看護学

# 教育スタッフ

京都府立医科大学の教育スタッフは、いずれも様々な分野の最先端で活躍してきたスペシャリストです。医師や看護師を目指して学ぶ学生たちが、次世代の医学や医療現場で活躍できるよう、教員一人ひとりが持つ生きた知識やノウハウを活かした、高度で専門的な教育を実践しています。

学長  
竹中 洋



附属病院長  
夜久 均



副学長(教育・施設整備計画担当)兼  
学生部長  
橋本 直哉



副学長(研究担当)  
佐和 貞治



副学長(地域医療担当)兼  
医療センター所長  
大辻 英吾



副学長(総務担当)兼  
附属図書館長兼  
総合情報センター長  
加藤 則人



## 医学科

### ● 教養教育

人文・社会科学教室

教授 瀬戸山晃一  
准教授 八木 聖弥

第一外国語教室

教授 木塚 雅貴

数学教室

教授 長崎 生光  
講師 吉井 健悟

物理学教室

教授 上原 正三  
准教授 川野 輝彦

化学教室

教授 大庭 誠  
准教授 内田 智士

生物学教室

教授 小野 勝彦  
准教授 野村 真

### ● 基礎・社会医学

解剖学教室

生体構造科学部門

教授 田中 雅樹  
准教授 松田 賢一  
講師 山田 俊児

生体機能形態科学部門

教授 八代 健太  
講師 小林 大介

生理学教室

細胞生理学部門

教授 樽野 陽幸

統合生理学部門

教授 八木田和弘  
【研究部長】

講師 梅村 康浩  
講師 小池 宣也  
講師 土谷 佳樹

分子医科学教室

分子生化学部門

教授 奥田 司  
講師 栞原 康通  
講師 吉田 達士

ゲノム医科学部門

教授 田代 啓  
准教授 中野 正和

病理学教室

細胞分子機能病理学部門

教授 田中 秀央  
准教授 原田 義規

分子病態病理学部門

教授 伊東 恭子  
准教授 穴戸由紀子  
講師 藤本 崇宏

感染病態学(微生物・医動物)教室

教授 中屋 隆明  
講師 大道寺 智  
渡邊 洋平

免疫学教室

教授 松田 修  
准教授 岸田 綱郎  
講師 扇谷えり子

薬理学教室

研究准教授 岩田 和実

保健・予防医学教室

予防医学部門

教授 武藤 倫弘  
准教授 曾和 義広  
講師 渡邊 元樹

公衆保健科学部門

教授 上原 里程  
講師 小山 晃英

法医学教室

教授 池谷 博  
准教授 新谷 香  
講師 井戸田 望

生物統計学教室

教授 手良向 聡

医療フロンティア展開学

准教授 高木 智久  
講師 今井浩二郎

創薬医学

准教授 堀中 真野

基礎老化学

講師 渡邊 義久

医療レギュラトリーサイエンス学

教授 林 憲一

### ● 臨床医学

内科学教室

内分泌・免疫内科学部門

教授 福井 道明  
病院教授 川人 豊  
講師 河野 正孝  
講師 山崎 真裕

循環器・腎臓内科学部門

教授 的場 聖明  
准教授 中村 猛  
准教授 山田 浩之  
講師 白石 裕一  
講師 全 完  
講師 玉垣 圭一

呼吸器内科学部門

教授 高山 浩一  
准教授 山田 忠明

消化器内科学部門

教授 伊藤 義人  
准教授 小西 英幸  
准教授 保田 宏明  
講師 石川 剛  
講師 十亀 義生  
講師 森口 理久  
講師 山口 寛二  
講師 吉田 直久

血液内科学部門

教授 黒田 純也  
講師 古林 勉  
講師 志村 勇司

脳神経内科学部門

教授 水野 敏樹  
【国際学術交流センター長】  
准教授 吉田 誠克  
講師 尾原 知行  
講師 笠井 高士

外科学教室	講師 寺内 竜	精神医学教室	教授 成本 迅
消化器外科学部門	講師 長江 将輝		准教授 富永 敏行
教授 大辻 英吾	講師 牧 昌弘		講師 中前 貴
【副学長・医療センター所長】	スポーツ・障がい者スポーツ医学教室		講師 松岡 照之
准教授 岡本 和真	准教授 新井 祐志	放射線医学教室	
准教授 藤原 斉	教授 三上 靖夫	教授 山田 惠	
講師 生駒 久視	講師 大橋 鈴世	准教授 鈴木 弦	
講師 窪田 健	講師 河崎 敬	講師 赤澤健太郎	
講師 栗生 宜明	産婦人科学教室	講師 後藤真理子	
移植・一般外科学部門	准教授 カーンカレク	麻醉科学教室	
病院教授 牛込 秀隆	准教授 森 泰輔	教授 佐和 貞治	
講師 中村 緑佐	講師 藁谷深洋子	【副学長】	
講師 昇 修治	小児科学教室	病院教授 橋本 悟	
内分泌・乳腺外科学部門	腫瘍・血液・免疫小児科学部門	准教授 上野 博司	
講師 阪口 晃一	准教授 秋岡 親司	講師 石井 祥代	
心臓血管・小児心臓血管外科学部門	准教授 家原 知子	講師 柴崎 雅志	
教授 夜久 均	講師 今村 俊彦	講師 溝部 俊樹	
【附属病院長】	神経・内分泌代謝・新生児小児科学部門	感染制御・検査医学教室	
病院教授 山岸 正明	講師 大曾根真也	講師 稲葉 亨	
准教授 神田 圭一	講師 土屋 邦彦	講師 中西 雅樹	
講師 沼田 智	眼科学教室	救急医療学教室	
呼吸器外科学部門	教授 外園 千恵	教授 太田 凡	
教授 井上 匡美	病院教授 横井 則彦	講師 山畑 佳篤	
講師 下村 雅律	講師 上野 盛夫	病理学教室	
小児外科学部門	講師 稗田 牧	人体病理学部門	
教授 田尻 達郎	皮膚科学教室	病院教授 小西 英一	
准教授 古川 泰三	教授 加藤 則人	講師 宮川 文	
講師 青井 重善	【副学長・附属図書館長・総合情報センター長】	総合医療・医学教育学教室	
形成外科学部門	准教授 益田 浩司	講師 丹羽 文俊	
病院教授 沼尻 敏明	講師 浅井 純	疼痛・緩和医療学教室	
講師 素輪 善弘	講師 峠岡 理沙	教授 天谷 文昌	
脳神経外科学教室	泌尿器科学教室	【教育センター長】	
教授 橋本 直哉	教授 浮村 理	講師 小川 寛	
【副学長・学生部長】	病院教授 沖原 宏治	歯科	
准教授 立澤 和典	准教授 本郷 文弥	病院教授 金村 成智	
講師 高橋 義信	講師 内藤 泰行	講師 山本 俊郎	
整形外科学教室	講師 藤原 敦子	●中央研究室	
教授 高橋 謙治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室	RIセンター	
准教授 生駒 和也	教授 平野 滋	研究教授 勝山 真人	
准教授 白井 寿治	准教授 安田 誠	実験動物センター	
講師 岡 佳伸	講師 瀧 正勝	准教授 大塚 哲	
講師 小田 良			
講師 高取 良太			

■ 附属北部医療センター 病院長 落合登志哉

■ 看護学科

基礎看護学領域	教授 關戸 啓子	精神看護学領域	准教授 毛利 貴子
	准教授 滝下 幸栄	講師 占部 美恵	講師 川上 祐子
	講師 山本 容子	小児看護学領域	
看護倫理・管理学領域	教授 吾妻 知美	准教授 原田 清美	地域看護学領域
	【看護学科長】	講師 馬場口喜子	准教授 志澤 美保
成人看護学領域	教授 岩脇 陽子	がん看護学領域	講師 白井 香苗
	准教授 室田 昌子	准教授 吉岡さおり	呼吸器外科学領域
	講師 越智 幾世	母性看護学・助産学領域	教授 島田 順一
	講師 佐伯 良子	教授 松岡 知子	産婦人科学領域
		講師 吉岡友香子	教授 楠木 泉
		在宅・老年看護学領域	小児科学領域
		教授 江本 厚子	教授 森本 昌史

(令和3年7月1日現在)

## 国際交流

### 国際化の推進

**本学では、現在の多様化・融合化・国際化する教育研究の拡がりを踏まえ、学外の大学、大学、研究機関等との連携・学术交流を積極的に推進しています。**

現在、海外の25大学・研究機関と学术交流協定等を締結しており、このうちオクラホマ大学(アメリカ)、リーズ大学(イギリス)、エディンバラ大学(イギリス)には医学生を派遣し、臨床実習を実施しています。また、医学科では研究配属の期間を利用しての海外研究室への派遣も行われているなど、2021年に策定した「国際化推進プラン2021」の下、医学科、看護学科とも派遣先の一層の拡大に向けて取り組んでいます。

なお、2019年にはチュラロンコン大学(タイ)やサント・トーマス大学(フィリピン)、2020年にはチェンマイ大学(タイ)や国立シンガポール大学とも交流協定を締結するなど、アジアの大学との交流も進めています。



### Internationalな学生生活を! 学生団体KiSA

医学科 第5学年 上杉 楓 (大阪府・大阪教育大学附属  
高等学校天王寺校舎出身)



KiSA (KPUM International Student Association)は2019年4月に発足した本学公認の学生主体の国際交流団体です。本学への留学生と本学学生の交流促進を目指して活動しています。

KiSAでは留学生とのワークショップ、小旅行などのイベントの企画と実行を主な活動としています。ワークショップでは英語でのプレゼンテーションとディスカッションを通して世界各国の文化や社会について理解を深めるとともに、同じ医学を学ぶ学生として話を弾ませています。対面で会うことが難しい時期も、オランダやイギリス、タイの学生と、オンラインツールを活用して積極的に繋がることを試みてきました。

英語を使う機会を多く得られる上に国際交流で楽しく視野を広げられる、私たちの活動と一緒に参加しませんか?お待ちしております!



### Leeds大学オンライン授業に参加して

医学科 第6学年 橋本 寛子 (愛知県・愛知県立旭丘高校出身)

2021年4月からの1か月間、英国Leeds大学のオンライン授業に参加しました。オンライン授業は病院実習と並行して行われ、診断のための問診や薬剤処方方の練習など、臨床に即した実践的な内容を学びます。Cancer and Continued Careという講義の中で、がんの告知や家族の死というBad newsの伝え方を学び、聞き手に配慮した場所の設定や話の運び方を考えながらロールプレイを行いました。臨床的コミュニケーションを理論的に学ぶ文化の違いが印象的でした。授業中はチャットで質問したり活発にディスカッションを行う学生の参加度の高さに刺激を受けました。時差で全ての授業には参加できなかったのは残念ですが、日本にいながら海外の大学で学ぶオンライン留学の可能性を感じる体験でした。



### トロント大学SickKidsに研究留学

医学科 第6学年 磯邊 綾菜 (京都府・洛北高校出身)



研究にどっぷり浸かれる貴重な6週間にあなたなら何に挑戦しますか?

医学部入学時から研究に興味を持っていた私は、基礎配属期間に小児病院としてカナダ最大を誇るトロント大学関連小児病院(通称SickKids)でSummer Internship生として小児白血血の研究をしてきました。

SickKidsでは多国籍の医師や研究者たちから考え方や議論を進める技術、実験の組み立て方を学びました。そして、実験の計画から成果発表までの一連の流れを体験することができました。留学生活の中でカナダの医療システム事情や移民が多い地域ならではの文化にも触れ、視野がぐっと広がりました。

本学の環境を生かして皆さんもオリジナルの基礎配属に挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

## 研究活動

京都府立医科大学は、最先端の生命科学・医学研究を推進し、数多くの成果を世界の学術領域や医療の現場に発信しています。

### 京都府立医科大学の研究分野におけるランキング

※( )内は前回の順位、大学数は2020年度の数(出典:AERAムック『大学ランキング2022』)

#### 科学研究費補助金総額 (2020年度) ※教員1人当たり

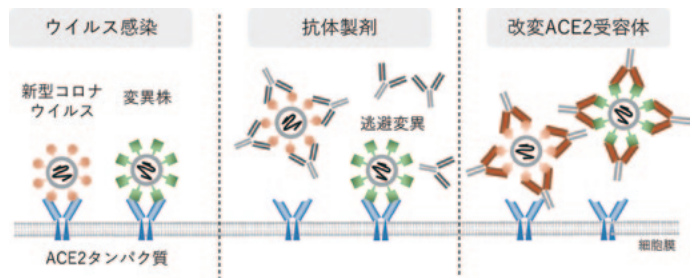
金額	全公立大学中(95大学)	国公立医科大学中(28大学)	全大学中(791大学)
2,875千円	1位(1)	2位(2)	12位(10)

### 京都府立医科大学の最先端研究の紹介 (新型コロナウイルス関係研究)

#### すべての変異型を逃さない新型コロナウイルス治療薬の開発

新型コロナウイルスの感染受容体であるACE2タンパク質のウイルス結合力を100倍に高めることに成功し、ウイルス中和蛋白製剤を開発した。

この高親和性ACE2製剤は抗体製剤と同等の治療効果を持ち、さらに抗体製剤で問題となるウイルス変異による治療効果の減弱が起きない。アルファ株やデルタ株にも有効で、将来にわたり逃避変異株が生じる心配がないため、新型コロナウイルス感染症が克服されるまで使用可能な治療薬の開発が期待される。



Nat Commun 2021;12:3802 (2021 Jun 21)  
特願2021-028209

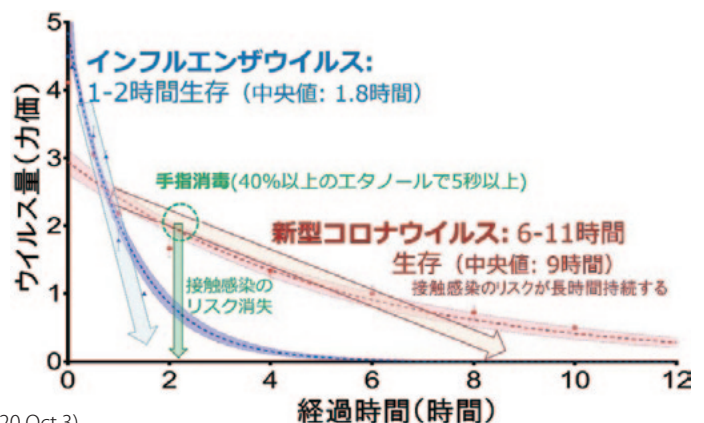
星野温 助教(医学研究科)ら

#### ヒトの皮膚上のウイルスの生存期間を解明 ウイルスに対する消毒薬の有効性を解明

ヒト皮膚表面上において、インフルエンザウイルスが1.8時間程度で不活化するのに対し、新型コロナウイルスは9時間程度生存し、生存時間が非常に長い(すなわち接触感染のリスクが高い)ことを解明した。[研究1・2]

また、ヒト皮膚表面上の新型コロナウイルスは、濃度が40w/w% (48v/v%) 以上のエタノール消毒薬による5秒間以上の手指消毒で十分に不活化されることを解明した。[研究3]

これらの知見に基づき、ウイルスの生存しにくい皮膚表面環境の創出を目指した研究が進められている。



研究1: Clin Infect Dis 2020. [Altmetric Attention Score: 3487] (2020 Oct 3)

研究2: Clin Infect Dis 2021. (2021 Jan 13).

研究3: Clin Microbiol Infect 2021. (2021 Apr 24)

廣瀬亮平 助教(医学研究科)ら

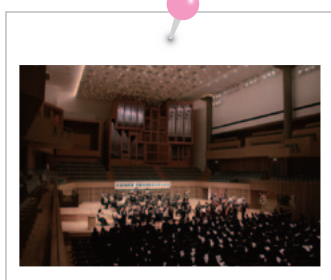
# CAMPUS LIFE

KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

4

April

- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 学生定期健康診断
- 東京慈恵会医科大学との定期戦



5

May

- 解剖体春季追悼式

6

June

- トリアス祭ナイトラウンジ
- 広小路音楽の夕べ



10

October

- 解剖体秋季追悼式
- トリアスダンスパーティー
- トリアススポーツ大会
- CBT実施(医4)
- POST-CC OSCE(医6)

11

November

- 創立記念日
- トリアス本祭
- OSCE実施(医4)



12

December

- 冬季休業
- 白衣授与式(医4)



## Club クラブ活動

### 体育部【全19部】

本学はクラブ活動が盛んで、多くの学生がクラブに所属しています。学生が最も力を入れている大会に西日本の44医学部が参加する「西日本医科学生総合体育大会」があります。また年に一度、東京慈恵会医科大学との交流試合が行われています。

- |            |          |        |             |          |
|------------|----------|--------|-------------|----------|
| ●サッカー部     | ●準硬式野球部  | ●軟式庭球部 | ●ラグビー部      | ●ハンドボール部 |
| ●弓道部       | ●バレーボール部 | ●剣道部   | ●バドミントン部    | ●フットサル部  |
| ●バスケットボール部 | ●柔道部     | ●卓球部   | ●硬式庭球部      | ●自転車競技部  |
| ●陸上競技部     | ●ヨット部    | ●水泳部   | ●ワンダーフォーゲル部 |          |

# 7 July

- 前期試験 (医1・看1~3)
- 大学院学位授与式



# 8 August

- 夏季休業
- 夏のオープンキャンパス
- 西日本医科学生総合体育大会
- 夏期体験実習 (医1~3)

# 9 September

- 京都府北部地域医療実習 (医5・看3)
- 基礎看護学実習 I (看1) (実習スタート)

# 1 January

- 臨床実習スタート (医4~5)
- 大学院学位授与式
- 後期試験 (医1・看2)



# 2 February

- 医師・看護師等国家試験
- 後期試験 (看1)

# 3 March

- 卒業式
- 春季休業



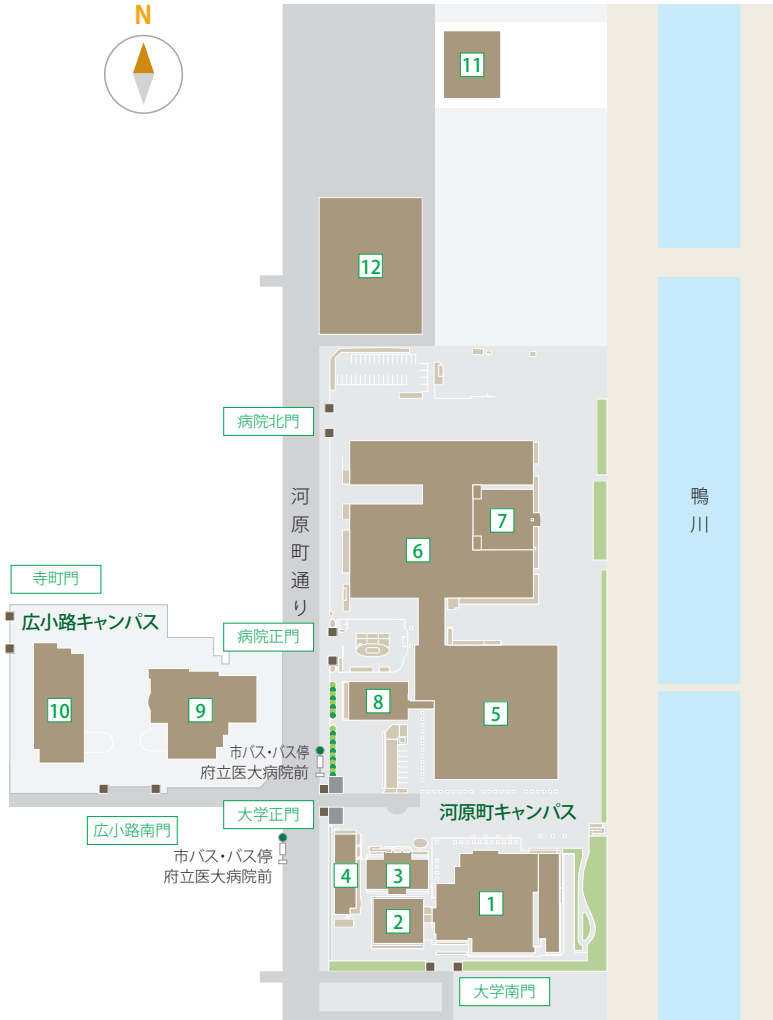
## 文化部【全13部】

本学の文化部は様々な分野にわたり大学と連携した活動を展開しています。他の大学との交流も盛んであり、鴨川のほどりという恵まれた環境の下で各々の学生が豊かな大学生活を謳歌しています。

- 写真部
- 総合芸術部
- ESS
- 東洋医学研究会
- 医道部
- 音楽部交響楽団
- 美術部
- 混声合唱団たちばな
- 囲碁・将棋部
- ライフサポート部
- 軽音楽部
- AIメディカル研究会
- 茶道部

## キャンパスマップ（河原町・広小路）・交通アクセス

### キャンパスマップ（河原町・広小路）



京都府立医科大学のキャンパスは、附属病院と併設する河原町キャンパスをはじめ、いずれも京都の中心部に位置しています。美しい鴨川沿いにある河原町キャンパスには教育施設の他にも、カフェやレストラン、郵便局やコンビニなどがあり、キャンパスライフはとても快適です。

### 建物一覧

- ① 基礎医学学舎
- ② 基礎医学学舎実習棟
- ③ 大学本部棟
- ④ 管理棟  
(1F 生協カフェテリアポレポレ、2F 生協医学部店)
- ⑤ 外来診療棟・臨床医学学舎
- ⑥ 病棟(A・B・C・D)・中央診療棟
- ⑦ 臨床講義棟
- ⑧ E病棟(1F 郵便局、コンビニ)
- ⑨ 附属図書館・合同講義棟
- ⑩ 看護学学舎
- ⑪ 体育館
- ⑫ 永守記念最先端がん治療研究センター



① 基礎医学学舎



③ 大学本部棟



⑤ 外来診療棟・臨床医学学舎



① 基礎医学学舎ロビー



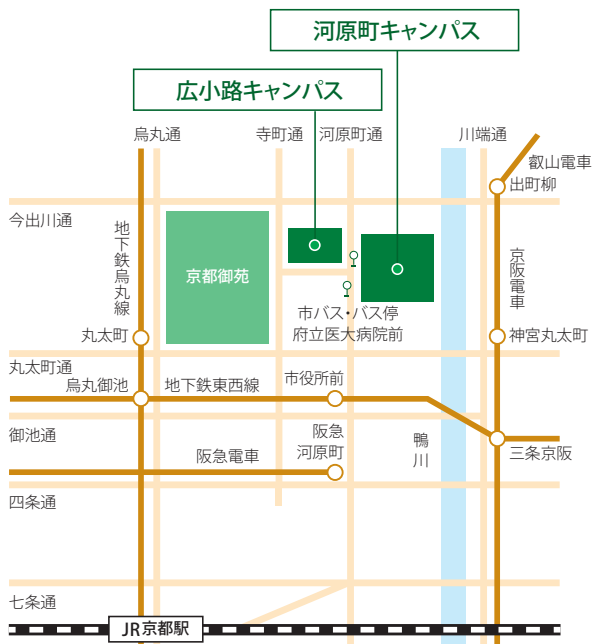
⑨ 附属図書館・合同講義棟



⑩ 看護学学舎



## 交通アクセス



### 河原町キャンパス

京都市上京区河原町通広小路上の梶井町465

### 広小路キャンパス

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410(上京区広小路通河原町西入る)

JR京都駅(正面)から	市バス4, 17, 205系統	「府立医大病院前」下車
阪急電鉄河原町駅から	市バス3, 4, 17, 205系統	
京阪電鉄三条駅から	市バス37, 59系統 京都バス23, 43系統	
京阪電鉄神宮丸太町駅から	徒歩10分	
京阪電鉄出町柳駅から	徒歩15分	

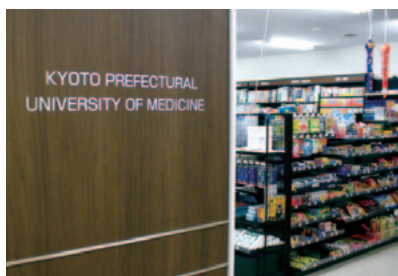
河原町・広小路キャンパス



### 下鴨キャンパス(稲盛記念会館)

京都市左京区下鴨半木町1-5

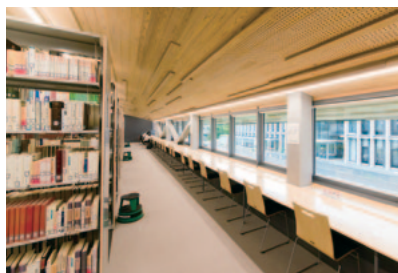
JR京都駅・阪急烏丸駅から	地下鉄烏丸線	「北山」下車	徒歩7分	下鴨キャンパス
京阪出町柳駅から	市バス1系統	「府立大学前」下車	徒歩5分	
JR二条駅から	市バス206系統		徒歩5分	



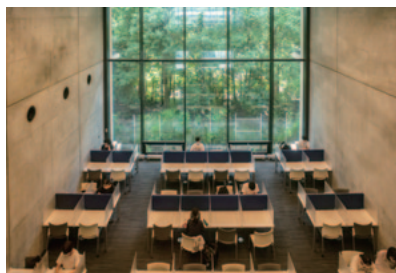
生協医学部店



生協カフェテリア ポレポレ



附属図書館下鴨館(京都学・歴史館2階)



下鴨キャンパス自習室



下鴨キャンパス(稲盛記念会館)

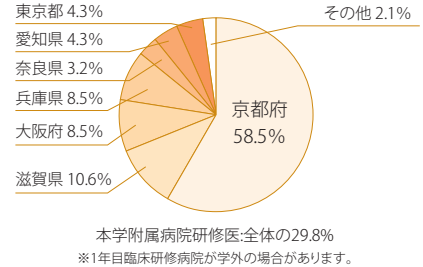
## 卒業後の進路 奨学金・減免制度等

**主な就職先** 卒業後は、京都府内を中心に様々な医療機関や地方公共団体などへ

### 医学科 (1年目臨床研修病院)

- |  |   |  |
|--|---|--|
| 本学附属病院<br>本学附属北部医療センター<br>市立福知山市民病院<br>舞鶴医療センター<br>綾部市立病院<br>京都中部総合医療センター<br>京都第一赤十字病院<br>京都第二赤十字病院<br>京都市立病院<br>洛和会丸太町病院<br>宇治徳洲会病院<br>京都岡本病院<br>京都山城総合医療センター | 大津市民病院<br>済生会滋賀県病院<br>近江八幡市立総合医療センター<br>草津総合病院<br>松下記念病院<br>大阪警察病院<br>済生会吹田病院<br>日本生命病院<br>大阪南医療センター<br>大阪市立総合医療センター<br>大阪急性期・総合医療センター<br>大阪赤十字病院<br>神戸市立医療センター中央市民病院 | 兵庫県立西宮病院<br>市立豊中病院<br>神戸赤十字病院<br>宝塚市民病院<br>市立奈良病院<br>天理よろず相談所病院<br>東京大学医学部附属病院<br>東京慈恵医科大学附属病院<br>慶應義塾大学病院<br>名古屋医療センター<br>名古屋済済会病院<br>三重大学医学部附属病院<br>飯塚病院 |
|--|---|--|

医学科卒業生1年目臨床研修病院 都道府県別割合 (令和2年度卒業生)



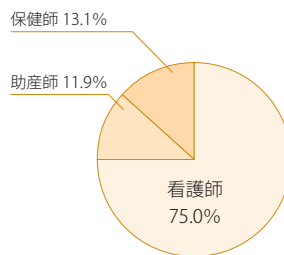
### 看護学科 (就職)

- |  |  |
|--|--|
| 本学附属病院<br>京都大学医学部附属病院<br>京都医療センター<br>京都第一赤十字病院<br>京都第二赤十字病院<br>三菱京都病院<br>田辺記念病院<br>蘇生会総合病院<br>国立循環器病研究センター<br>大阪府三島救命救急センター<br>大阪大学医学部附属病院<br>大阪市立総合医療センター<br>大阪医科大学附属病院<br>関西医科大学附属病院<br>済生会吹田病院<br>住友病院<br>大野記念病院<br>阪南病院<br>兵庫県立こども病院 | 神戸市立医療センター<br>近畿中央病院<br>明石こころのポスピタル<br>国立成育医療研究センター<br>杏林大学附属病院<br>東京大学医学部附属病院<br>東京都立小児総合医療センター<br>東京小児療育病院<br>東邦大学医療センター<br>虎ノ門病院<br>名古屋大学医学部附属病院<br>名古屋徳洲会病院<br>広島市民病院<br>京都府<br>京都市<br>長岡京市<br>福知山市<br>大阪市 |
|--|--|

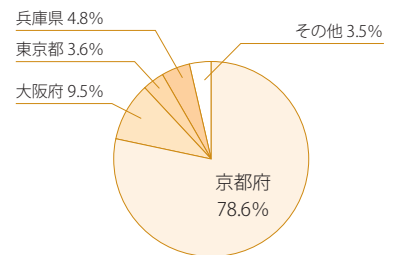
### (進学)

- 本学大学院  
 大阪大学  
 金沢大学  
 滋賀県立看護大学

看護学科卒業生 職種別就職状況 (令和2年度卒業生)



看護学科卒業生 都道府県別就職先 (令和2年度卒業生)



京都府には、本学附属病院(全体の51.2%)を含む。

### 奨学金・減免制度等

入学金、授業料の減免や奨学金など、経済状況に応じた学費支援制度が利用可能

#### 入学料

- **医学科** 府内在住: 282,000円 府外在住: 493,000円
- **看護学科** 府内在住: 169,200円 府外在住: 282,000円

#### 授業料(年額)

535,800円(前・後期の区分による年2回の分納となります。)  
※金額は令和3年度の金額です。

#### 入学料・授業料の減免

##### ● 入学料の減免

入学許可を受ける日の前1年以内に罹災する等により、入学料の納付が困難と認められる場合には、入学料が減免、または徴収猶予される場合があります。

##### ● 授業料の減免

成績が良好で、学資困難その他特別の事情があると認められた者に対しては、授業料が減免されます。

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」が適用されている大学であり日本学生支援機構の給付型奨学金の受給者は国の減免制度が適用されます。

### 奨学金

#### ● 日本学生支援機構奨学金(貸与奨学金)

優れた学生で、経済的理由により修学が困難な人に貸与されます。

種類	貸与月額
第一種奨学金 (無利子)	自宅通学 20000円、30,000円または45,000円
	自宅外通学 20000円、30,000円または51,000円
第二種奨学金 (有利子)	20,000円～120,000円 (10,000円刻み)
入学時特別増額 奨学金(有利子)	入学月の基本月額に10万円、20万円、 30万円、40万円、50万円を増額

※貸与月額は令和3年度の金額です。

#### ● 京都府立医科大学NIM 奨学金

医学科卒業生からの寄付を基にして、医学科各学年の成績優秀者に奨学金を交付します。

#### ● その他の奨学金

その他、地方公共団体や民間の事業団体による奨学金制度があります。

#### 下宿等

本学には学生寮はありませんが、大学の町・京都には昔ながらの情緒ある下宿から、都市型のワンルームマンションまで、学生向けの賃貸住宅が豊富です。

# 入学試験情報

## 2022年度 入学試験概要(予定)

学科	試験区分	募集人員	出願期間	試験日
医学科	一般選抜(前期日程)	100	令和4年1月24日(月)～2月4日(金)	令和4年2月25日(金)、26日(土) (追試験:令和4年3月7日(月)予定)
	特別選抜(学校推薦型選抜) (共通テストを課す)	7	令和4年1月19日(水)～2月4日(金)	令和4年2月12日(土)、又は13日(日)
看護学科	一般選抜(前期日程)	45	令和4年1月24日(月)～2月4日(金)	令和4年2月25日(金) (追試験:令和4年3月7日(月)予定)
	特別選抜(学校推薦型選抜) (共通テストを課さない)	40	令和3年11月1日(月)～11月8日(月)	令和3年11月27日(土)

※一般選抜(後期日程)は実施しません。 ※試験詳細については、必ず各学生募集要項で確認してください。

## 2021年度 入学試験結果

### 試験区分別実施状況

学科	試験区分	募集人員	志願者数	第1次段階 合格者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	
医学科	一般選抜(前期日程)	100	277	277	256	100	100	2.8	
	男女別		男子	186	186	173	71		71
			女子	91	91	83	29		29
	現浪別		現役	140	140	129	55		55
			非現役	137	137	127	45		45
	推薦入試	7	11	-	11	7	7	1.6	
	男女別		男子	6	-	6	4		4
			女子	5	-	5	3		3
	現浪別		現役	9	-	9	6		6
			非現役	2	-	2	1		1
看護学科	一般選抜(前期日程)	45	68	68	65	47	45	1.5	
	男女別		男子	1	1	1	0		0
			女子	67	67	64	47		45
	現浪別		現役	63	63	60	45		43
			非現役	5	5	5	2		2
	推薦入試	40	63	-	63	40	40	1.6	
	男女別		男子	5	-	5	3		3
			女子	58	-	58	37		37

※一般選抜(後期日程)は実施していません。 ※看護学科推薦入試は現役生のみ対象です。



詳細はこちらから ([https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam\\_gakubu/result.html](https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_gakubu/result.html))



京都府立医科大学  
KYOTO PREFECTURAL UNIVERSITY OF MEDICINE

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上的梶井町465

Tel. 075-251-5167 (教育支援課入試係)

<https://www.kpu-m.ac.jp>